



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好

発行月 R3年1月

No. 43

新年明けまして

おめでと〜ございませす
本年もきらくな会を
よろしくお願ひします。

一年前の「きらくなたより」の記事です。

「中国を源とする新型肺炎が流行しているようです。ここまで流行が来るかどうかは分かりませんが用心に越したことはありません」

なんと！来ちゃいましたね！

そのせいで、今年の正月のめでたさは半分くらい。初詣なども自粛ムード、豆まきも中止という様子で、結局、神様も仏様もウィルス様には勝てないことが判りました。

一生に一度の成人式も可哀そうでした。成人し着飾った娘さんは、例年より美しく見えました。もしかしたらマスクのせい？

でも新成人の輝くようなあの艶やかな肌！三回も四回も成人式を迎えた我々には眩しいようです。

♪あんな時代もあったねと〜♪
そうですね。我々にもあったんです。だからってなあ〜？

もどれませんよお！



こんな時世だからでしょうか。CMに宮沢賢治の詩が良く出てきます。そこで「雨二モ負ケズ」きらくなバージョン

雨にも負けず

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも コロナにも負けぬ
丈夫な体を願ひ

あらゆることに関心を持ち 体がいいからと試し
他人にも奨めるが 決して長続きせず すぐ終わる

一日に なんだか 今日朝めしくったかと尋ね
有名人の名前は思い出せず あれあれあの人と言ひ
少しは 思い出そうと頑張ってみるが
すぐあきらめ いつも寂しく笑っている

あちらこちらで開かれる ○○教室によく顔を出し
安いツアーを見つけては出かけ 誰彼となく話しかける

東に血圧の高い人あれば しょっぱい漬物を持参し

西に糖尿の人あれば 饅頭を食わせ

南に死にそうな人あれば

やがては 誰でも逝くのだからと慰め

北に詐欺に引つかかかった人あれば

行つては あんたもかいと同情し

寒さの冬は 炬燵に尻までもぐり

暑さの夏は クーラーの効いた部屋に閉じこもり

たまに散歩に出かければ 迷子札を付けられ

みんなに ちいっとボケたんじゃないのと うわさされ

寝られもせず たよりにもされぬ

そういうものに あなた なりたい？



雨二モマケズ
コロナ二モマケズ



緑公で見つけた雪だる